

村上ゼミ(1647研究室)

経営学専門演習・地域課題解決研究

《活動目標》

〈3年次〉

・ファイナンスに関する基礎的なテキストの輪読を通じて、**金融・ファイナンスの基礎知識の習得**を目指します。

・金融・ファイナンスに関する文献や資料、新聞記事の読み込み・報告・ゼミメンバーとのディスカッションを通じて、**卒業論文のテーマ決定**を目指します。

〈4年次〉

・自らが設定した研究テーマに基づいて、文献や資料、データ等を収集・整理・分析し、**卒業論文の完成**を目指します。

《活動内容》

〈3年次〉

・金融・ファイナンスの基礎・応用知識の習得

- 各種小論文・プレゼンコンテストへの参加
- 企業訪問(学外研修)
- 実務家による講義



〈研究室でディスカッション中〉

〈4年次〉

・卒業論文執筆



〈実務家講義の様子〉



〈卒論発表会の様子〉

《テキスト・参考文献》

ファイナンスで扱うテーマは多岐に渡るため、テキストはゼミのメンバーの関心に基づいて決定します。

R5年度 : 山田真哉(2014)『問題です。2000円の弁当を3秒で「安い！」と思わせなさい【新装開店版】』小学館

R4年度 : モーガン・ハウセル(2021)『サイコロジー・オブ・マネー』ダイヤモンド社

R2-3年度: ロバート・キヨサキ(2013)『改訂版 金持ち父さん貧乏父さん』筑摩書房

R元年度: 渋谷武夫(2001)『経営分析の考え方・進め方』中央経済社

《活動内容のキーワード》

パーソナルファイナンス、コーポレートファイナンス、行動ファイナンス、金融教育、資産選択、年金 等

《成績評価》

〈3年次〉報告内容、ディスカッションでの積極性

〈4年次〉卒業論文の完成度

《専門》ファイナンス

《卒業論文題目例》

卒論テーマは各自、自身の関心に基づいて決めています。

・若年層の資産形成促進策の検討

～NISAの活用に着目して～

・日本におけるキャッシュレス普及の現状と官民の取り組みから考える今後の方向性

・日本における仮想通貨普及の可能性

・投資信託商品の手数料とパフォーマンスの関連性

・若年層の投資を促す金融教育とは何か

～行動ファイナンスの理論を用いた考察～

・クラウドファンディングを利用した資金調達を成功に導く要因

・持続可能な社会の形成に向けた銀行の取り組み

・MICEの現状と今後ー広島市に着目してー

・リーグクラブの効率的な資金活用について

・テレワーク導入は日本の労働環境をどう変えるか

《コンテストへの挑戦》

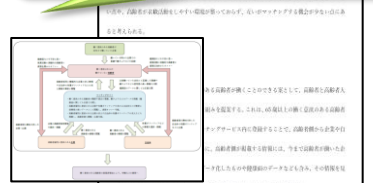
学生の小論文・プレゼンテーションコンテストである「NRI学生小論文コンテスト」や「日経Stockリーグ」、「日銀グランプリ」、「大学生観光まちづくりコンテスト」等に挑戦しています。

証券取引や取引所の役割等を学習



〈大阪取引所訪問〉
※これはR元年度に訪問した際の写真ですが、R5年度も訪問します。

R2年度は公務員志望の3年生を中心にNRI学生小論文コンテストに参加



〈執筆した小論文〉



〈執筆したレポート〉

R4年度は日銀グランプリに参加



〈執筆した小論文〉

R5年度は大学生観光まちづくりコンテストに参加



〈作成したプレゼン資料〉

《主な就職先・進学先》

東京海上日動火災保険、損保ジャパン日本興亜、広島銀行、山口フィナンシャルグループ、第一生命保険、ひろぎん証券、広島県信用保証協会、広島信用金庫、JA広島市、広島県庁、広島市役所、呉市役所、廿日市市役所、安芸太田町役場、広島商工会議所、中国SC開発、ウッドワン、学校法人鶴学園 等